

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																	
大阪医療技術学園専門学校	平成21年3月1日	磯橋 文秀	〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目1-30 (電話) 06-6354-2501																	
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																	
学校法人大阪滋慶学園	昭和62年3月1日	浮舟 邦彦	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2-43 (電話) 06-6150-1301																	
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																
医療	医療専門課程	臨床検査技師科	平成6年文部科学省 告示第84号	-																
学科の目的	患者治療における、検査を担っている人材として、医師と対等に話をする為、最新の知識・技術を習得する人材を育成する。また、心ある患者対応と、医療現場の運営にも提案できる人材を養成する事を目的とする。																			
認定年月日	平成26年3月31日																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験														
3	年	2910単位時間	1950単位時間	270単位時間	690単位時間	0時間														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数															
240人	238人	0人	9人	30人	39人															
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験の成績、学習状況、出席状況 等																
長期休み	■学年始: ■夏季:8月8日～8月16日 ■冬季:12月27日～1月5日 ■学年末:		卒業・進級 条件	各学期における試験評価 試験評価60点以上 授業日数の85%以上の出席 等																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学則に基づき補講対応		課外活動	■課外活動の種類 球技大会、体育祭、文化祭 等																
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 独立行政法人国立病院機構 近畿グループ、公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院、社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 他 ■就職指導内容 キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																
	<table border="1"> <tr> <td>資格・検定名</td> <td>種</td> <td>受験者数</td> <td>合格者数</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>②</td> <td>75人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>中級バイオ技術認定試験</td> <td>③</td> <td>68人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	臨床検査技師	②	75人	62人	中級バイオ技術認定試験	③	68人	68人					※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																	
臨床検査技師	②	75人	62人																	
中級バイオ技術認定試験	③	68人	68人																	
中途退学の 現状	■中途退学者 11名 令和3年4月1日時点において、在学者241名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者230名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、進路変更、病気、家庭の事情 等		■中退率 4.6%																	
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																			
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 評価団体: 私立専門学校等評価研究機構 受審年月日: 令和4年3月31日 URL: <a href="https://www.ocmt.ac.jp/daisansya/">https://www.ocmt.ac.jp/daisansya/</a>																			
当該学科の ホームページ URL	URL: <a href="https://www.ocmt.ac.jp">https://www.ocmt.ac.jp</a>																			

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、教育課程編成委員会規程を定め実施する。教育課程の編成において、病院・施設・企業・業界団体等の意見を活かし、必要なる最新の知識・技術を反映させるための連携体制等に学校は勤める事を方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校は、教育課程編成委員会の意見を参考に、教育課程の編成にあたる。作成した教育課程は、毎年、学校長の承認のもと、理事会の了承を得る。承認を経た教育課程は教育課程編成委員会に告知する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
橋本 勝信	学校法人 大阪滋慶学園 常務理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
磯橋 文秀	大阪医療技術学園専門学校 学校長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
中道 真樹	大阪医療技術学園専門学校 事務局次長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
小川 正子	大阪医療技術学園専門学校 教務部長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
松田 貴文	大阪医療技術学園専門学校 医療秘書・情報学科/専攻科学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
重松 康之	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
飯塚 稔	大阪医療技術学園専門学校 医療心理科学科長/専攻科学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
駒井 亘	大阪医療技術学園専門学校 薬業科学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
北田 寛	大阪医療技術学園専門学校 鍼灸師学科/鍼灸美容科学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
小川 れい	大阪医療技術学園専門学校 言語聴覚士学科昼間部学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
藤本 光輝	大阪医療技術学園専門学校 言語聴覚士学科夜間部学科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
石本 良之	医療秘書教育全国協議会 事務局長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
西 基之	一般財団法人住友病院 医事室室長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
中林 利克	武庫川女子大学 薬学部薬学科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	②
今中 伸行	協和商事株式会社 取締役社長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
田畑 泰弘	大阪府臨床検査技師会 常務理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
樋口 武史	彦根市立病院 臨床検査科科長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
北川 肇	公益社団法人大阪府鍼灸師会 理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
松下 美智代	Acupuncture BISHIN 代表	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
松村 裕基	株式会社フレビッグ 代表取締役(ゆう鍼灸整骨院 院長)	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
山口 羊一	奈良県言語聴覚士会 理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
梶栗 麗子	社会医療法人協和会加納総合病院 言語聴覚士	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
西岡 隼基	関西医科大学総合医療センター 言語聴覚士	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
中川 るみ	アミューズメントバリアフリー協会 理事長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
西川 孝	NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回の実施(毎年7月、1月)

(開催日時)

第1回 令和4年7月8日 18:30～20:00

第2回 令和5年1月予定 18:30～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

カリキュラム変更による臨地実習の単位変更や臨地実習前の実技技能評価(オスキー)など大きな変更があった。現場で求めている技能と教育現場で行っている指導に乖離があるものに対し改善を行った。またタスクシフト・シェアなどにより医療現場での臨床検査技師の仕事内容が拡大してきているため、卒前教育でもしっかり指導していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識・技術を教授し、学生一人一人の個性を最大限に活かしながらそれぞれの業界で力を発揮できるような教育システムを構築して、人に感動を与え、ビジネスマインドに富んだ仕事ができる人材を各業界との連携のもと養成することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

実習依頼(契約時)に本校から臨地実習要項と評価表をお渡し、実習依頼の内容と評価の仕方について説明をする。実習開始前には実習先と実際の実習スケジュールと実習内容の確認を実施。期間中には教員が実習先に出向き、実習状況や実習生の実習態度について報告を頂き、改善に努める。また、本科の卒業研究は実習先との共同で行っており、実習終了後には、卒業研究の報告会を開催している。実習終了後にも実習先に出向き今後についての情報交換を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨地実習	患者や医療従事者と接することで社会人として自覚させ、就職しても困らないための実地訓練をする。	市立岸和田市民病院、東住吉森本病院、日生病院、多根病院、大阪医療センター 等 計41施設

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修等は、学校法人大阪滋慶学園として、教員研修規程を定め実施する。教員の研修は計画を立て行い、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させると共に、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上をさせるために行う。

(2) 研修等の実績

- ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 ○ 業界研修 令和4年1月28日(金)～30日(日) 日本臨床微生物学会主催 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会 専任教員1名参加 内容:演題発表、シンポジウム など  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 ○ 教育研修 令和3年5月24日(月) 日本臨床検査学教育協議会主催 日本臨床検査学教育協議会定例総会・研修 専任教員2名参加 内容:カリキュラム変更についてなど

(3) 研修等の計画

- ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 ○ 業界研修 令和4年5月21日～22日 日本臨床衛生検査技師会主催 第71回日本医学検査学会in大阪 専任教員1名 内容:最新の検査の紹介、シンポジウム など  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 ○ 教育研修 令和4年5月23日 日本臨床検査学教育協議会主催 日本臨床検査学教育協議会定例総会・研修 専任教員2名 内容:カリキュラム変更について など

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、学校関係者評価委員会規程を定め実施する。評価委員会は、自己点検・自己評価の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像は定められているか 等
(2) 学校運営	運営方針は定められているか 等
(3) 教育活動	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 等
(4) 学修成果	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 等
(5) 学生支援	就職に関する体制は整備されているか
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか 等
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 等
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 等
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 等
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

毎年、大阪府臨床検査技師会の取り組みに対して、本校の卒業生も多数参加している。在学中から卒業後教育や業界理解について指導するうえでも大阪府臨床検査技師会の勉強会の会場貸しは大変有益であるとの意見を踏まえ、今後も連携して取り組んでいく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
西 基之	一般財団法人住友病院 医事室室長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
今中 伸行	協和商事株式会社 取締役社長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
松下 美智代	Acupuncture BISHIN 代表	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
田畑 泰弘	大阪府臨床検査技師会 常務理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
山口 羊一	奈良県言語聴覚士会 理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
西川 孝	NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	企業等委員
久徳 健三	大阪市北区堀川連合振興町会 会長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	地域
近田 直人	こんだ直人教育研究所代表(元平野高校教)	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	高等学校
野入 英治	卒業生	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	卒業生
采井 章浩	卒業生	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	卒業生
國領 成江	保護者	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )  
 URL: <https://www.ocmt.ac.jp>  
 毎年7月末公開予定

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、情報公開規程を定め実施する。学校が保有する情報の公開及び開示に関し必要な事項を定め、当該情報を積極的に公開することにより、学園の教育活動や取り組みについて広く社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の改善や社会全体からの信頼の獲得に資することを方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の沿革 等
(2) 各学科等の教育	各学科の教科目標 等
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援の取り組み 等
(5) 様々な教育活動・教育環境	サポートシステム 等
(6) 学生の生活支援	学生マンション 等
(7) 学生納付金・修学支援	納付金 等
(8) 学校の財務	財務状況 等
(9) 学校評価	自己点検・自己評価 等
(10) 国際連携の状況	国際教育の取り組み 等
(11) その他	社学連携 等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ  
 URL: <https://www.ocmt.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(医療専門課程 臨床検査技師科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			化学	検査の基本となる秤量法や試薬の調整をするための濃度計算など分析の基本を学び説明できるようになる。	1前	30	2	○			○	○			
○			生物学	細胞の成り立ちや発生、遺伝の基礎などを説明できるようになる。	1前	30	2	○			○		△	○	
○			倫理学	医療に対する倫理・患者への倫理を学び、倫理観を身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			心理学	心理学の基礎的な仕組みや用語について説明できるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			社会学	社会的に必要な知識・教養を身につけ、説明できるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			人間関係論	人間関係構築の構造やスキルを身につけ、実践できるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			英語 1	英語の基礎学力を確認し、医用英語の基礎を身につける。	1前	30	2	○			○		○	△	
○			英語 2 (国際臨床学含む)	国際的視野を身につけると共に英語による簡単なコミュニケーションが取れるようになる。	2前	30	1	○			○		○	△	
○			英語 3	英語の応用力を身につけ、基本的な日常会話が理解できるようになる。	2前	15	1	○			○			○	
○			医用英語	医療分野で必要な英語力を身につけ、病院での簡単な英語での会話が理解できるようになる。	1後	30	2	○			○		○	△	
○			保健体育・健康科学	体の構造を理解し、健康を維持させることと、健康に対する知識を持つようになる。	1通	30	2	○			○		○		

○		解剖学	ヒトの細胞から組織臓器までの構成や組織の役割を理解し臓器個々の特徴を説明できるようになる。	1通	75	4	○		△	○				○
○		生理学	基本的な生体反応を理解することにより疾病に罹ったときの身体の反応を考えることができる。	1前	30	2	○		△	○				○
○		生化学	基本的な化学反応を理解し、生体は化学反応により維持されていることを説明できるようになる。	1通	60	2	○		△	○				○
○		病理学	疾患の原因と罹患後の影響について説明できるようになる。	1前	30	1	○			○				○
○		微生物学	微生物の構造や種類および病原性について説明できるようになる。	1後	15	1	○			○				○
○		血液学	血液の発生学について学び、赤血球、白血球、血小板の機能と役割を説明できるようになる。	1後	15	1	○			○				○
○		免疫学	免疫機構を司る細胞や生理活性物質について理解し、その仕組みを説明できるようになる。	1後	30	1	○			○				○
○		薬理学	薬物の作用や副作用、検査値への影響が説明できるようになる。	1後	15	1	○			○				○
○		公衆衛生学 1・2	疾病・感染症の予防、健康増進の法律や制度について学び、予防医学の考え方を習得する。	1後 3後	45	2	△		○	○				○
○		保健医療福祉 総論	医学の歴史から現在の医療体制などを説明でき、医療人として考えを述べるができるようになる。	2後	30	2	○			○				○
○		医用工学1・ 2	基本的な電気の知識や医用機器の取り扱い技術と安全な使用法を理解する。	1後 3後	75	2	○		△	○				○
○		情報科学	コンピュータ原理を理解し、基本操作ができるようになる。	1前	30	1	○		△	○				○
○		検査機器学	医療機器の使用法と簡単な構造を学び説明できるようになる。	1前	15	1	○		△	○				○
○		臨床医学総論	肺疾患、腎疾患、循環器疾患などについて概要治療まで理解し説明できるようになる。	1後	45	3	○			○				○
○		臨床検査医学 総論	各疾患について検査データの解析と診断方法を説明できるようになる。	2前	30	2	○			○				○

○		病態解析演習	課題症例の検査値やその他のデータから疾患名を推測できるようになる。	3 後	30	2	○		○		△	○	
○		血液検査学 1・2	血液成分の基礎を学習し、各種血液検査法によって血液疾患を解析できるようになる。	2 通 3 通	150	4	○		△	○		△	○
○		解剖病理学	病理検査学を学ぶ上で必要となる解剖を理解し、人体構造を説明できるようになる。	3 後	15	1	○		○				○
○		病理検査学 1・2	細胞、組織を染色して顕微鏡で観察し、組織変化から疾患を考え説明できるようになる。	2 通 3 通	150	4	△		○	○		△	○
○		一般検査学 1・2	腎臓の構造、機能と尿検査について学び、尿検査の原理とデータを説明できるようになる。	1 前 3 後	60	2	△		○	○		○	
○		寄生虫検査学 1・2	寄生虫の生活史や感染経路などの知識を学び、検査方法を習得する。	2 後 3 後	45	2	△		○	○			○
○		臨床化学	血液成分の無機質について測定法を学び説明できるようになる。	1 後	15	1	○		○			○	
○		臨床化学検査学 1・2	血液中の有機物・無機物の測定法及び、検査で使用する放射性同位元素について学び説明できるようになる。	2 通 3 後	105	3	△		○	○			○
○		免疫検査学	人体の防御システムである免疫について理解し、免疫学的検査ができるようになる。	2 通	90	3	○		△	○			○
○		染色体検査学	染色体の基本と染色体異常について学び、その検査技術を習得して説明できるようになる。	2 前	15	1	○		○				○
○		遺伝子検査学	遺伝子と遺伝子異常による疾患を理解し説明できるようになる。	1 後	15	1	○		○				○
○		遺伝子分析検査学	血液からDNAを抽出しDNAの性質およびPCRなどを用いて遺伝子検査を説明できるようになる。	2 通	45	2	○		△	○			○
○		微生物検査学 1・2	各種微生物の概要と性状を理解し病原微生物の同定検査ができるようになる。	2 通 3 後	120	6	○		△	○			○
○		輸血・移植検査学 1・2	輸血および移植に関する基礎知識を修得し、輸血検査ができるようになる。	2 前 3 通	105	4	○		△	○			○
○		生理機能検査学 1・2・3	心電図や脳波などの生体機能を測定する検査の原理やデータの見方を説明できるようになる。	1 後 2 通 3 通	210	7	○		△	○		△	○

○		画像検査学	超音波・MRIなど画像にて診断する検査の基礎知識とその検査法を説明できるようになる。	2通	60	3	○		△	○	○			
○		精度管理学 1・2・3	検査に必要な管理法と精度の評価方法が説明できるようになる。	1後 2前 3後	60	4	○			○			○	
○		検査情報処理科学	コンピュータでの集計や統計手法を身につけ、データ管理ができるようになる。	1通	45	2	○		△	○			○	
○		検体採取処理技術	検体の正しいデータを出すために必要な保存方法や採取方法を学び、正しい検体採取ができるようになる。	1後	30	1			○	○			○	
○		医療安全管理学	検体採取における注意点や感染対策、リスクマネジメントについて学び、安全な医療提供に必要な知識を身につける。	3後	30	1	○		△	○			○	
○		総合技術演習	臨地実習の前に身につけておくべき知識・技術について実践する。	2後	30	1		○		○			○	
○		臨地実習	検査の知識・技術の習得、医療人としての心構えを身につける。	3前	330	11			○			○	○	○
○		国家試験対策	国家試験に必要な知識を学び、模擬試験等で国家試験に合格できる学力を身につける。	3通	60	2	○			○			○	
○		総合演習1・2・3	応用力を身につけて、習得した知識・技術を更に向上させ、自身の将来像を描くことができるようになる。	1後 2後 3前	240	9		○		○	△	○		
合計				65科目	2,910単位時間(123単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学期末に行う試験・実習等の成果を総合的に勘案して行う。また、出席率が所定の授業時間数の90%未満のものはその評価を受ける事ができない。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。